

# 横光利一『上海』書誌稿（七）

† 村田好哉

まえがき

本稿は、二〇一〇（平成二十二）年から二〇二〇（令和二）年までの横光利一『上海』研究文献目録の作成を試みたものである。

本稿の作成にあたっては、「横光利一文学会会報」および「横光利一研究」に掲載中の横光利一参考文献目録とあわせて国文学研究資料館「国文学論文目録データベース」、国立国会図書館〔NDL-OPAC〕（国立国会図書館蔵書検索）、横光利一文学会ホームページ〔<http://yokomitsu.jp.n.org>〕の「横光利一関連論文データベース」（同「論文データベース」）は作成チームの掛野剛史、島村健司、高橋幸平、松村良、山崎義光諸氏によって管理・運営されている。二〇〇八年十月一日より公開）等を参照した。記して御礼を申し上げます。

なお本稿は以下に掲げるものの続稿である。

## 1、横光利一『上海』書誌稿

『国際都市上海』所収 261～325頁 産研叢書1 上海プロジェクト班 大阪産業大学産業研究所発行 一九九五（平成七）年九月三十日

## 2、横光利一『上海』書誌稿（承前）

「大阪産業大学論集 人文科学編」 第八十七号 55～73頁  
大阪産業大学学会 一九九六（平成八）年三月一日

## 3、横光利一『上海』書誌稿（三）

「大阪産業大学論集 人文科学編」 第九十一号 27～42頁  
大阪産業大学学会 一九九七（平成九）年三月十五日  
↓『中国関係論説資料98年（平成10）年分第40号第2分冊（上）「文学語学」』収録 横光利一『上海』書誌稿（三）187～194頁 論説資料保存会 一九九九（平成十一）年十二

† 大阪産業大学 国際学部 国際学科 教授

草稿提出日 3月8日

最終原稿提出日 3月9日

月十日

#### 4、横光利一『上海』書誌稿(四)

「大阪産業大学論集 人文科学編」 第一百十号 1～13頁  
大阪産業大学学会 二〇〇三(平成十五)年六月三十日

↓『中国関係論説資料04年(平成16)年分第46号第1分冊

(上)「哲学宗教文化」収録 横光利一『上海』書誌稿(四)

175～181頁 論説資料保存会 二〇〇五(平成十七)年十月

三十日

#### 5、横光利一『上海』書誌稿(五)

「大阪産業大学論集 人文科学編」 第一百十三号 1～14頁  
大阪産業大学学会 二〇〇四(平成十六)年六月三十日

↓『中国関係論説資料05年(平成17)年分第47号第2分

冊(上)「文学語学」収録 横光利一『上海』書誌稿(五)

146～153頁 論説資料保存会 二〇〇七(平成十九)年一月

三十一日

#### 6、横光利一『上海』書誌稿(六)

「大阪産業大学論集 人文・社会科学編」 第二十九号 大  
川俊隆教授・樋口忠成教授 福田美智代教授・丸本嘉彦教

授退職記念号 19～35頁 大阪産業大学学会 二〇一七

(平成二十九)年三月三十一日

#### 一、『上海』テキスト一覧

『大活字本』 文士達が見た戦前中国第五巻 上海(横光

利一) 序 横光利一「昭和十年」 5～6頁 / 上海(本

文) 7～438頁 / 付録 序「初版」横光利一 439～441頁

響林社の大活字本シリーズ 響林社 16(平成28)年10月

30日

#### 二、研究史及び解題

松村 良 特集趣旨「横光利一研究」 第10号 | 特集「横

光利一研究の現在と課題」 | 1～2頁 横光利一文学

会 12(平成24)年3月17日

山本亮介 なぜ横光利一でなければならないのか | 司会を終

えて | 3～6頁 同右

掛野剛史 特集「横光利一研究の現在と課題」 I 伝記研究

の領域 | 伝記研究についての展望 | 7～12頁 同右

山口律男 II モダニズム研究の領域 | 象徴主義からモダニズ

ムへ | 13～28頁 同右

柚谷英紀 III レトリック・表現研究の領域 | 仮設された(主

体)とレトリックの(意志) | 29～42頁 同右

島村健司 IV メディア研究の領域 | 横光利一文学の転回とメ

ディアのかかわり | 43～57頁 同右

石田仁志 V ジェンダー研究の領域 | 横光文学における《性》

《結婚》 | 58～65頁 同右

黒田大河 VI ポストコロニアル・ナショナリズム研究の領域

| 『旅愁』論のアポリア | 66～78頁 同右

井上 謙 十周年記念寄稿 横光利一雑感 79～92頁 同右

山崎國紀 十周年記念寄稿 現代文学初期にみる「科学」の

浸蝕―直木三十五と横光利一― 93～109頁 同右

伴 悦 《研究展望》十周年記念寄稿 横光利一文学研究と

三・二一大震災 110～113頁 同右

茂木雅夫 《研究展望》十周年記念寄稿 『旅愁』―新感覚的

構想― 114～117頁 同右

神谷忠孝 《研究展望》十周年記念寄稿 文学史的視野の必

要性 118～119頁 同右

### 三、横光利一参考文献目録

玉村 周・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

十六号文献目録（一九九六年～二〇一〇年）遺漏、および

追加（追加は二〇〇九年十月以降）「横光利一文学会会報」

第17号 17～19頁 横光利一文学会事務局 '10（平成22）

年7月31日

玉村 周・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

十七号文献目録（一九九六年～二〇一〇年）遺漏、および

追加（追加は二〇一〇年六月以降）「横光利一文学会会報」

第18号 13～14頁 横光利一文学会事務局 '11（平成23）

年2月28日

玉村 周・松村 良 横光利一参考文献目録（『横光利一文

学会会報』第十三～十八号掲載分）平成十六年（二〇〇四）

～平成二十二年（二〇一〇）「横光利一研究」第9号

―特集モダニズムのボーダー― 165～175頁 横光利一文学

会 '11（平成23）年3月17日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

十八号文献目録（一九九六年～二〇一〇年）遺漏、および

追加（追加は二〇一〇年十二月以降）「横光利一文学会会

報」第19号 10～11頁 横光利一文学会事務局 '11（平

成23）年7月22日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

十九号文献目録（一九九六年～二〇一一年）遺漏、および

追加（追加は二〇一一年六月以降）「横光利一文学会会報」

第20号 18～19頁 横光利一文学会事務局 '12（平成24）

年2月29日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

二十号文献目録（一九九六年～二〇一二年）遺漏、および

追加（追加は二〇一二年二月以降）「横光利一文学会会報」

第21号 14～15頁 横光利一文学会事務局 '12（平成24）

年7月17日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

二十一号文献目録（一九九六年～二〇一二年）遺漏、およ

び追加（追加は二〇一二年七月以降）「横光利一文学会会

報」第22号 13～14頁 横光利一文学会事務局 '13（平

成25）年2月7日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

二十二号文献目録（一九九六年～二〇一三年）遺漏、および追加（追加は二〇一二年一月以降）「横光利一文学会会報」第23号 22～23頁 横光利一文学会事務局 13（平成25）年7月24日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

二十三号文献目録（一九九六年～二〇一三年）遺漏、および追加（追加は二〇一三年七月以降）「横光利一文学会会報」第24号 11頁 横光利一文学会事務局 14（平成26）年1月25日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録（『横光利一文学会会報』第十九～二十四号掲載分）平成三年（一九九一）～平成二十五年（二〇一三）「横光利一研究」第12号

―特集「春は馬車に乗って」― 140～149頁 横光利一文学会 14（平成26）年3月17日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

二十四号文献目録（一九九六年～二〇一三年）遺漏、および追加（追加は二〇一三年一〇月以降）「横光利一文学会会報」第25号 14～15頁 横光利一文学会事務局 14（平成26）年7月26日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

二十五号文献目録（一九九六年～二〇一四年）遺漏、および追加（追加は二〇一四年四月以降）「横光利一文学会会報」第26号 11～12頁 横光利一文学会事務局 15（平成27）年2月5日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

二十六号文献目録（一九九六年～二〇一四年）遺漏、および追加（追加は二〇一五年一月以降）「横光利一文学会会報」第27号 14～15頁 横光利一文学会事務局 15（平成27）年7月20日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

二十七号文献目録（一九九六年～二〇一五年）遺漏、および追加（追加は二〇一五年七月以降）「横光利一文学会会報」第28号 11頁 横光利一文学会事務局 16（平成28）年1月25日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

二十八号文献目録（一九九六年～二〇一六年）遺漏、および追加（追加は二〇一六年二月以降）「横光利一文学会会報」第30号 9～11頁 横光利一文学会事務局 17（平成29）年1月25日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録（『横光利一文学会会報』第二十五～三十号掲載分）平成二十三年（二〇一一）～平成二十九年（二〇一七）「横光利一研究」第15号―特集「横光利一×太宰治」― 136～141頁 横光利一文学会 17（平成29）年3月22日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

二十九号文献目録（一九九六年～二〇一四年）遺漏、および追加（追加は二〇一四年四月以降）「横光利一文学会会報」第29号 11～12頁 横光利一文学会事務局 15（平成29）年7月20日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

三十号文献目録（一九九六年～二〇一五年）遺漏、および追加（追加は二〇一五年七月以降）「横光利一文学会会報」第31号 11頁 横光利一文学会事務局 16（平成30）年1月25日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

三十一号文献目録（一九九六年～二〇一六年）遺漏、および追加（追加は二〇一六年七月以降）「横光利一文学会会報」第32号 11頁 横光利一文学会事務局 17（平成31）年1月25日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録（『横光利一文学会会報』第三十～三十五号掲載分）平成三十三年（二〇二一）～平成三十九年（二〇二七）「横光利一研究」第17号―特集「横光利一×太宰治」― 142～147頁 横光利一文学会 17（平成31）年3月22日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

三十二号文献目録（一九九六年～二〇一七年）遺漏、および追加（追加は二〇一七年七月以降）「横光利一文学会会報」第33号 11頁 横光利一文学会事務局 17（平成31）年7月20日

石井佑佳・松村 良 横光利一参考文献目録 会報第一号

三十三号文献目録（一九九六年～二〇一八年）遺漏、および追加（追加は二〇一八年七月以降）「横光利一文学会会報」第34号 11頁 横光利一文学会事務局 17（平成31）年7月20日

三四号文献目録（一九九六年～二〇一八年）遺漏、および  
追加（追加は二〇一九年一月以降）「横光利一文学会会報」  
第36号 8～11頁 横光利一文学会事務局 '20（令和2）  
年1月24日

**石井佑佳・松村 良** 横光利一参考文献目録（『横光利一  
文学会会報』第三二・三四・三六号掲載分）平成二四年  
（二〇二二）～平成三一年・令和元年（二〇一九）「横光  
利一研究」第18号―特集「横光利一と小林秀雄」― 171  
～179頁 横光利文学会 '20（令和2）年3月17日

**石井佑佳・松村 良** 横光利一参考文献目録 会報第一号～  
三六号文献目録（一九九六年～二〇一九年）遺漏、および  
追加（追加は二〇二〇年一月以降）「横光利一文学会会報」  
第38号 17～19頁 横光利一文学会 '21（令和3）年2月  
6日

**石井佑佳・松村 良** 横光利一参考文献目録 会報第一号～  
三八号文献目録（一九九六年～二〇二〇年）遺漏、および  
追加（追加は二〇二一年一月以降）「横光利一文学会会報」  
第40号 9～11頁 横光利一文学会 '22（令和4）年2月  
22日

#### 四、『上海』研究文献書誌

二〇一〇（平成二十二）年

**前川 裕** 大衆文化研究試論（1）―「感情の構造」として  
の昭和歌謡―「言語と文化」第7号 101～114頁 法政大  
学言語・文化センター '10（平成22）年1月30日

**邱 雅芬** 『芥川龍之介の中国―神話と現実―』第五章敗北  
から再生へ 第二節横光利一「上海」の世界 293～312頁  
花書院 '10（平成22）年3月2日

**浦田 剛** 横光利一「上海」における郵便制度―「古里の母」  
の「手紙」から―「繡」第22号 65～76頁 早稲田大  
学大学院文学研究科日本語日本文学コース（近代） 繡の  
会 '10（平成22）年3月8日

**植島啓司** ポルノグラフィ―的想像力 連載①―横光利一  
『上海』[IN・POCKET] 第28巻5号5月号 152～167頁  
講談社 '10（平成22）年5月15日

**十重田裕一** 新感覚派・モダニズム時代 伏字のゆくえ―  
横光利一『上海』草稿への視角 「国文学解釈と鑑賞」第  
75巻6号6月号 特集横光利一と川端康成 77～84頁 至  
文堂編 ぎょうせい '10（平成22）年6月1日

**玉村 周** 新心理主義時代 横光「機械」 94～101頁 同右  
**河田和子** 〈上海もの〉と五・三〇事件―横光利一の『上海』  
とその周縁―「横光利一研究」第8号―特集『上海』と  
その文学的領域― 1～13頁 横光利一文学会 '10（平成

22) 年6月30日

石田仁志・田口律男 『上海』の典拠——邦人紡績罷業事件

と五卅事件及各地の動揺 第一輯』14～29頁 同右

陳 祖恩・中村みどり訳 『上海に生きた日本人——幕末から

敗戦まで』第15章 文化人の上海訪問 272～301頁「横光利

一の上海観 282～285頁」監訳者大里浩秋 大修館書店、10

(平成22)年7月10日

小川直美 二つの上海 村松梢風と村松友規 「大阪経大論

集」第61巻12号 通巻第317号 本多三郎教授退職記念号

359～364頁 大阪経大学会、10 (平成22)年7月15日

和田桂子 『上海時間旅行——蘇る、オールド上海の記憶——』

序章私と「上海」 文士達の感性が捉えた「上海」の風貌

44～57頁 佐野真一他著 山川出版社、10 (平成22)年7

月30日

中村 愿 それからの阿Qたち——二〇一〇年「在上海読書日

録」より——104～119頁 同右

杣谷英紀 第九回大会印象記 「横光利一文学会会報」第17

号 2～3頁 横光利一文学会事務局、10 (平成22)年7

月31日

石井佑佳 第九回大会 大会印象記 3～5頁 同右

掛野剛史 余滴 タカラヅカの中の横光利一『上海』宝

塚歌劇団花組バウホール公演・ミュージカル「BUND」

NEON 上海——深緋の嘆きの河——」についての報告 7～

8頁 同右

川村 湊 書評 横光利一の衣鉢を継ぐ、純粋小説「甘苦

上海完結版」高樹のぶ子「群像」第65巻9号 310～311頁

講談社、10 (平成22)年9月1日

松沢和宏・十川信介・十重田裕一・栗原 敦・井上隆史(司

会)《座談会》草稿の時代 「文学」第11巻9号9、10月

号 特集草稿の時代 2～49頁 岩波書店、10 (平成22)

年9月24日

大村 梓 ポール・モーランと横光利一—Champions du

Monde—『上海』における新しい女をめぐって——「比較

文化研究」第93号 133～140頁 日本比較文化学会 開文

社出版、10 (平成22)年10月31日

二〇一一年(平成二十三)年

近藤(小川)直美 一九〇〇年代以降の日本人の中国観の変

遷について 「経済史研究」第14号「特集2」上海 近代

のあゆみ——日本との関わりを中心に——197～203頁 大阪経

済大学日本経済史研究所、11 (平成23)年1月20日

井上 聰 上海の河(江)をめぐる日本の現代作家たち——横

光利一と林京子の『上海』を中心に——「解釈」第57巻1・

2号 通巻第658集 特集近代 34～42頁 解釈学会編、11

(平成23)年2月1日

中村三春 巻頭言 時代は放蕩した「横光利一文学会会報」

第18号 1頁 横光利一文学会事務局 '11(平成23)年2月28日

黒田大河 合評会報告 6〜7頁 同右

浦田 剛 横光利一「持病と弾丸(或る長篇)の第四編」

―推敲・改稿過程をめぐる考察― 「横光利一文学会第10回研究会集予稿集」(横光利一文学会会報第18号別冊) 7

〜12頁 横光利一文学会 '11(平成23)年2月28日

位田将司 横光利一の「転回」―「認識論」と「存在論」と

の対決― 「早稲田現代文芸研究」 第1号 79〜100頁 早

稲田文芸・ジャーナリズム学会 '11(平成23)年3月10日

↓「感覚」と「存在」―横光利一をめぐる「根拠」への

問い― 収録 第六章「転回」―「認識論」と「存在論」

との対決― 155〜180頁 明治書院 '14(平成26)年4月10

日

日置俊次 横光利一『寝園』論―その象徴空間と意識の闇―

「横光利一研究」 第9号―特集モダニズムのボーダー―

57〜75頁 横光利一文学会 '11(平成23)年3月17日

副田賢二 現象としての「芥川龍之介」と横光利一

―一九二〇年代の文学的ダイナミズムの一環として― 76

〜92頁 同右

掛野剛史 横光利一『上海』の典拠―雑誌『国際パンフレッ

ト通信』・長野朗『華僑』― 110〜122頁 同右

大村 梓 ポール・モーランと横光利一―Champions du

Mondeへ『上海』に描かれたディストピア― 「FLC言語

文化論集ポリフォニア」 第3巻 43〜66頁 東京工業大

学外国語研究教育センター '11(平成23)年3月30日

アブドゥエルマクスード・オラービ・ムハマド・ワイル

Abdel maksoud Orabi Mohamed Wael 横光利一『上海』

論―〈見る〉〈見られる〉の関係から読む 「日本研究」

第43集 71〜99頁 国際日本文化研究センター 角川学芸

出版(制作) '11(平成23)年3月31日

彭 小妍・岡田英樹訳 漫遊する男女(上)横光利一の『上海』

「植民地文化研究 資料と分析」 第10号 特集近代の日本

と台湾⑩ 182〜196頁 植民地文化学会 不二出版 '11(平

成23)年7月15日

位田将司 横光利一と「関東大震災」―「根拠」ground」

が揺れる 「文芸と批評」 第11巻4号 通巻104号 震災特

集 21〜44頁 文芸と批評の会 '11(平成23)年11月25日

↓「感覚」と「存在」―横光利一をめぐる「根拠」への

問い― 収録 序章「根拠ground」が揺れる 1

〜37頁 明治書院 '14(平成26)年4月10日

陳 童君 『祖国喪失』と堀田善衛の(上海1945)―「国際都市」

における「裏切り者」の逃亡と越境 「日本学研究」 第21

号 404〜419頁 北京日本学研究中心 学苑出版社 '11

(平成23)年11月(『上海』への言及なし)

↓堀田善衛の敗戦後文学論―「中国」表象と戦後日本―

収録 第一部本論 第二章上海・一九四五―堀田善衛『祖国喪失』論― 44～66頁 鼎書房 '17 (平成29) 年10月17日

**渡部直己** 日本小説技術史 第九回(最終回)―男たちの「格闘」に「女の子」の仕草を添えて―横光利一・尾崎翠 「新潮」 第108巻12号 通巻128号 233～266頁 新潮社 '11 (平成23) 年12月7日

↓『日本小説技術史』収録 第九章男たちの「格闘」に「女の子」の仕草を添えて―横光利一・尾崎翠 440～498頁／本文註 530～533頁 新潮社 '12 (平成24) 年9月30日

**平岡敏夫** 『上海』と『佳人之奇遇』―政治小説の系譜― 「稿本近代文学」 第36集 68～70頁 筑波大学日本文学会近代部会 筑波大学人文社会科学研究所文芸・言語専攻内新保研究室 '11 (平成23) 年12月10日

↓『佐幕派の文学―「漱石の気骨」から詩篇まで―』収録 『佳人之奇遇』の系譜―横光利一『上海』へ― 147～153頁 おうふう '13 (平成25) 年9月10日

**渋谷香織** 横光利一『上海』に描かれた外国人をめぐる一考察―井東憲を視座に― 「駒沢女子大学研究紀要」 第18号 1～9頁 駒沢女子大学・駒沢女子短期大学図書館 '11 (平成23) 年12月24日

↓『国文学年次別論文集近代3平成23(2011)年』収録 横光利一『上海』に描かれた外国人をめぐる一考察―井東憲

を視座に― 135～139頁 学術文献刊行会編 朋文出版 '15 (平成27) 年5月

二〇二二(平成二十四)年

**石原千秋** 読書 「文芸時評」 3月号「わからなさ」への態度 「産経新聞」東京朝刊 二四八六二号 10面 産経新聞社東京本社 '12 (平成24) 年2月26日(日曜)

**十重田裕一** 横光利一の著作に見るGHQ/SCAPの検閲―『旅愁』『夜の靴』『微笑』をめぐる― 「早稲田大学大学院文学研究科紀要」 第三分冊 2011年度 第57輯 21～31頁 早稲田大学大学院文学研究科 '12 (平成24) 年2月26日 (『上海』への言及なし)

↓『横光利一と近代メディア―震災から占領まで』収録 第四部検閲下の葛藤と再生への模索 第六章「明日の小説」のために―占領期の表現と言論統制 第四節占領期日本で出版された書物に見る検閲の痕跡―ブランゲ文庫所蔵資料からの照明― 334～344頁 岩波書店 '21 (令和3) 年9月30日

**石田仁志** 横光利一『上海』のインターテクスチュアリティ―表象の論理― 「文学論藻」 第86号 竹内清己教授退職記念号 東洋大学文学部紀要日本文学文化篇 第65集 91～110頁 東洋大学文学部日本文学文化学科 '12 (平成24) 年2月28日



↓『国文学年次別論文集近代3平成24(2012)年』収録 横  
光利一『上海』のインターテクスチュアリティ―表象の論  
理― 121～131頁 学術文献刊行会編 朋文出版 17(平成  
29)年5月

李 錦宰 一九二〇年代日本文学者が見た上海―芥川龍之介  
と横光利一を中心として―『日語日文学研究』第80巻2  
号 221～237頁 韓国日語日文学会 12(平成24)年2月28  
日

館下徹志 第十回大会第一部 印象記 「横光利一文学会会  
報」第20号 2～3頁 横光利一文学会事務局 12(平  
成24)年2月29日

芳賀祥子 大会印象記 3～4頁 同右

浦田 剛 第十一回大会印象記 研究発表印象記 「横光利  
一文学会会報」第21号 2～3頁 横光利一文学会事務  
局 12(平成24)年7月17日

佐藤良一 研究発表印象記 3～5頁 同右

栗崎愛子 「鼠」の胃を着たアジア主義者―「上海」四三章  
を中心に― 「横光利一文学会第11回大会予稿集」(横光  
利一文学会会報第20号別冊) 11～16頁 横光利一文学  
会 12(平成24)年2月29日

掛野剛史 特集「横光利一研究の現在と課題」I伝記研究の  
領域―伝記研究についての展望― 「横光利一研究」第10  
号―特集「横光利一研究の現在と課題」― 7～12頁 横

光利一文学会 12(平成24)年3月17日

田口律男 IIモダニズム研究の領域―象徴主義からモダニズ  
ムへ― 13～28頁 同右

柚谷英紀 IIIレトリック・表現研究の領域―仮設された(主  
体)とレトリックの(意志)― 29～42頁 同右

島村健司 IVメディア研究の領域―横光利一文学の転回とメ  
ディアのかかわり― 43～57頁 同右

石田仁志 Vジェンダー研究の領域―横光文学における《性》  
《結婚》― 58～65頁 同右

黒田大河 VIポストコロナル・ナシヨナリズム研究の領域  
―『旅愁』論のアポリア― 66～78頁 同右

↓『横光利一とその時代―モダニズム・メディア・戦争』  
収録 第II部異文化体験をめぐって 第九章『旅愁』論の  
アポリア―ポストコロナル・ナシヨナリズム研究の領域  
から 180～197頁 近代文学研究叢刊62 和泉書院 17(平  
成29)年3月17日

伴 悦 《研究展望》十周年記念寄稿 横光利一文学研究と  
三・一一大震災 「横光利一研究」第10号―特集「横光利  
一研究の現在と課題」― 110～113頁 横光利一文学会  
(平成24)年3月17日

神谷忠孝 《研究展望》十周年記念寄稿 文学史的視野の必  
要性 118～119頁 同右

十重田裕一、クリステイナ・イ訳 『検閲・メディア・文

- 学―江戸から戦後まで』 第二部 戦前・戦中から占領期・戦後にかけての文学と検閲 解説 内務省とGHQ／SCOAPの検閲と文学―一九二〇―四〇年代日本のメディア規制と表現の葛藤 88～101頁 / 英文 96～107頁 鈴木登美・十重田裕一・堀ひかり・宗像和重編 新曜社 '12 (平成24) 年3月30日
- 中澤 尊 ヒロインたちの「上海」―横光利一「上海」における女性人物の役割―「東海大学 日本語・日本文学研究と注釈」 第2号 40～54頁 東海大学研究と注釈の会 '12 (平成24) 年3月30日
- 黄 翠娥 日本の中国旅行記における「身体」―戦前を中心に―「日本語日本文学」 第37輯 79～97頁 輔仁大学外語学院日本語文学系 '12 (平成24) 年4月
- 浦田 剛 横光利一「持病と弾丸(或る長篇)の第四篇」―「神さま」の削除における「四人称」の発動―「文藝と批評」 第11巻5号 通巻第105号 22～30頁 文藝と批評の会 '12 (平成24) 年5月25日
- 彭 小妍・岡田英樹訳 漫遊する男女(中)横光利一の『上海』「植民地文化研究 資料と分析」 第11号 特集近代の日本と台湾⑪ 226～238頁、39頁 植民地文化学会 不二出版 '12 (平成24) 年7月15日
- 紅野謙介 研究ノート・原稿と活字のあいだ「日本近代文学」 第87集 111～115頁 日本近代文学会 '12 (平成24) 年11月15日
- 野中 潤 書評 中村三春著『花のフラクタル―20世紀日本前衛小説研究』 137～140頁 同右
- 柳瀬善治 種の論理・力学的空間・未来への象形文字―田辺哲学から横光利一へ―「近代文学試論」 第50号特集地域性と文学 215～225頁 広島大学近代文学研究会 広島大学大学院文学研究科内 '12 (平成24) 年12月25日
- 鈴木貞美 文化「国際共同研究の25年」(3)カイロの日本文学サロン「産経新聞」大阪夕刊 二五一五九号 4面 産経新聞社大阪本社 '12 (平成24) 年12月27日(木曜)
- 二〇一三(平成二十五)年
- 古矢篤史 『上海一〇〇年日文化交流の場所』<sup>トボス</sup> 横光利一『上海』をめぐる 横光利一『上海』論のために―言語都市(上海)とその(日本)をめぐる表象の歴史性 125～147頁 鈴木貞美・李征編 勉誠出版 '13 (平成25) 年1月15日
- 中沢 弥 横光利一『上海』と映画表象 149～166頁 同右
- 和田博文 メディアと文学 上海の日本語雑誌メディア―『上海消息』 217～232頁 同右
- 中沢 弥 新刊紹介 鈴木貞美・李征編『上海一〇〇年日文化交流の場所』<sup>トボス</sup>「横光利一文学会会報」 第22号 7～8頁 横光利一文学会事務局 '13 (平成25) 年2月7日

**位田将司** 横光利一『上海』における「共同の論理」―「形式」

「商品」・「機械」―「早稲田現代文芸研究」第3号 74

90頁 早稲田文芸・ジャーナリズム学会 '13 (平成25)年3月8日

↓『「感覚」と「存在」―横光利一をめぐる「根拠」への

問い―収録 第三章『上海』における「共同の論理」

―「形式」・「商品」・「機械」― 84～103頁 明治書院 '14

(平成26)年4月10日

**中沢 弥** ダンスホールの資本戦―横光利一『上海』のテキ

ストとプレテキスト―「横光利一研究」第11号 19～30

頁 横光利一文学会 '13 (平成25)年3月17日

**伊東佳朗** 『上海』論―甲谷に込められた意味― 31～46頁

同右

**渡部直己** 講演 横光利一と小説技術―『機械』を中心に―

(司会位田将司) 67～79頁 同右

**山崎義光** 【書評】中村三春著『花のフラクタル』 20世紀日

本前衛小説研究』84～87頁 同右

**奥田 尚** 都市上海と日本人―いくつかの断面―「アジア

観光学年報」第14号 70～80頁 追手門学院大学国際教

養学部アジア学科 '13 (平成25)年3月30日

**石田仁志** オアシス 横光利一『上海』と上海文化表象研究

「東洋通信」第50巻2号5月号 4～6頁 東洋大学通信

教育部 '13 (平成25)年5月1日

**田部井文也** 横光利一『上海』―テクストの「虚構性」―「白

山文学研究」創刊号 45～52頁 東洋大学大学院文学研

究科国文学専攻石田仁志研究室 '13 (平成25)年6月29日

**安藤優一** 横光利一『上海』試論―貫流する河と水 53～60

頁 同右

**関根順子** プロレタリアートとしての上海体験―前田河廣一

郎における「上海の宿」― 72～81頁 同右

**彭 小妍・岡田英樹** 漫遊する男女(下)横光利一の『上海』

「植民地文化研究 資料と分析」第12号 特集近代の日本

と台湾⑫ 209～214頁 植民地文化学会 不二出版 '13 (平

成25)年7月15日

**松村 良** ▼メディア表象―雑誌・出版・映画 雑誌『改造』

と(上海)―「戦間期東アジアの日本語文学」アジア遊学

167 67～76頁 編者石田仁志・掛野剛史・渋谷香織・田口

律男・中沢弥・松村良 勉誠出版 '13 (平成25)年8月13

日

**石田仁志** ▼上海文化表象―都市・空間 上海『魔都』イメー

ジの内実―村松梢風・井東憲から横光利一へ 77～90頁

同右

**田口律男** 上海表象のリミット―横光利一と前田河廣一郎

91～101頁 同右

**柳瀬善治** 表象の危機から未来への開口部へ―田辺元と横光

利一の交錯点 102～112頁 同右

- 土屋 忍** 『南洋文学の生成 訪れることと想うこと』序論  
經由する南洋―『ふらんす物語』と『上海』を中心に―  
25～57頁 新典社研究叢書242 新典社 '13(平成25)年9  
月20日
- 秦 剛** 展望 戦前日本出版メディアの上海ルート―内山書  
店と改造社の海を越えたネットワーク―『日本近代文学』  
第89集 200～207頁 日本近代文学会 '13(平成25)年11月  
15日
- 佐藤公一** 『小林秀雄の批評芸術 エクスタシーの哲学』第  
九章「機械」と『上海』―『横光利一』167～177頁 アー  
ツアンドクラフツ '13(平成25)年12月15日
- 山岸郁子** 『改造社のメディア戦略』改造社の文化事業 35  
～61頁 庄司達也・中沢弥・山岸郁子編 双文社出版 '13  
(平成25)年12月16日
- 邵 明琪** 横光利一『上海』(1928～1940)論―テキストの生成  
と変容に関する通時的な検証 『日本学研究』第23輯 502  
～574頁 北京日本学研究中心編 学苑出版社 '13(平成  
25)年12月
- 二〇一四(平成二十六)年
- 黒田大河** 合評会報告 「横光利一文学会会報」第24号 6  
～8頁 横光利一文学会事務局 '14(平成26)年1月25日
- 位田将司** 横光利一と『資本論』―『上海』と『機械』を  
連関させる「経済学」―「早稲田現代文芸研究」第4号  
89～114頁 早稲田文芸・ジャーナリズム学会 '14(平成  
26)年3月8日  
↓『感覚』と「存在」―横光利一をめぐる「根拠」への  
問い―収録 第五章横光利一と『資本論』―『上海』と『機  
械』を連関させる「経済学」―122～154頁 明治書院 '14  
(平成26)年4月10日
- 仁平政人** 【書評】井上明芳著『文学表象論・序説 小林秀  
雄・横光利一―文学言説の境界』「横光利一研究」第12  
号 125～128頁 横光利一文学会 '14(平成26)年3月17日
- 劉 妍** 植民地都市上海の情事と政治―横光利一「風呂と銀  
行」と劉呐鷗の「礼儀と衛生」の比較を中心に―「海港  
都市研究」第9号 61～78頁 神戸大学大学院人文学研  
究科海港都市研究センター '14(平成26)年3月25日
- 大内拓人** 横光利一「上海」研究―〈身体〉表象を中心に―  
「國學院大学大学院文学研究科論集」第41号 43～54頁  
國學院大学大学院文学研究科学生会 '14(平成26)年3月  
31日
- 栗崎愛子** 性愛と国家のホモロジー―『上海』戦争前夜の世  
界―「九大日文」第23号 57～65頁 九州大学日本語文  
学会 '14(平成26)年3月31日
- 田口律男** フォーラム 方法論の現在Ⅱ 都市論 「日本近  
代文学」第90集 192～195頁 日本近代文学会 '14(平成

26) 年5月15日

楊 曉文 シャンハイ―山口恵以子『月下上海』と横光利一

『上海』の比較研究 「東方」 2014年7月 第401号 9～14  
頁 東方書店 '14 (平成26) 年7月5日

中村三春 新刊紹介 位田将司著『感覚』と「存在」―横

光利一をめぐる「根拠」への問い―「横光利一文学会会  
報」第25号 6～7頁 横光利一文学会事務局 '14 (平  
成26) 年7月26日

十重田裕一 『検閲の帝国 文化の統制と再生産』第1部検

閲の拡張、揺れ、転移 植民地を描いた小説と日本におけ  
る二つの検閲―横光利一―『上海』をめぐる言論統制と創

作の葛藤 88～108頁 紅野謙介・高榮蘭・鄭根植・韓基亨・  
李惠鈴編 新曜社 '14 (平成26) 年8月8日

↓『横光利一と近代メディア―震災から占領まで』収録  
第Ⅲ部文学の〈神様〉の誕生 第四章「共同製作」の場―

本文とメディアをめぐる探究 第一節植民地を描いた小説  
と二つの検閲―『上海』をめぐる言論統制と創作の葛藤―

165～184頁 岩波書店 '21 (令和3) 年9月30日

石田仁志 研究展望 戦間期の上海文化表象研究 「昭和文

学研究」第69集 136～138頁 昭和文学会 発売笠間書  
院 '14 (平成26) 年9月1日

中村 誠 書評 土屋忍 『南洋文学の生成 訪れることと

想うこと』 「日本近代文学」第91集 249～252頁 日本近

代文学会 '14 (平成26) 年11月15日

黒田大河 書評 位田将司著『感覚』と「存在」 横光利一  
をめぐる「根拠」への問い』 269～272頁 同右

二〇一五(平成二十七年) 年

浦田 剛 第十四回研究会印象記 研究発表印象記 「横

光利一文学会会報」第26号 2～3頁 横光利一文学会  
事務局 '15 (平成27) 年2月5日

韓 然善 研究発表印象記 3～4頁 同右

謝 惠貞 新刊紹介 劉妍『横光利一研究…《上海》から《旅  
愁》まで』 7～8頁 同右

十重田裕一 『近代文学草稿・原稿研究事典』第一部 総論

草稿・原稿研究の視角 第二章 草稿から出版へ 草稿か  
ら出版へ―横光利一の直筆原稿をてがかりに 26～36頁／

第二部 作家別事例 横光利一 380～383頁 編集委員安藤  
宏・栗原敦・紅野謙介・十重田裕一・中島国彦・宗像和重

日本近代文学館編 八木書店 '15 (平成27) 年2月20日

高橋幸平 書評 位田将司著『感覚』と「存在」―横光利

一をめぐる「根拠」への問い―「昭和文学研究」第70  
集 61～63頁 昭和文学会 発売笠間書院 '15 (平成27)

年3月1日

鈴木和佳子 北米における横光作品の受容の現状について

―教室で語られる『上海』を視座として― 「横光利一研究」

第13号 69～71頁 横光利一文学会 '15 (平成27) 年3月17日

**古矢篤史** 限定本ブーム下の横光利一と「書翰」一九三〇年

代ジャーナリズムの隠喩 「早稲田現代文芸研究」 第5号 84～95頁 早稲田文芸・ジャーナリズム学会 '15 (平成27) 年3月20日

**李 哲権** 『上海』に働く神話的イメージ—横光利一の『上海』を読む— 「聖徳大学研究紀要」 聖徳大学 第25号 聖徳大学短期大学部 第47号 77～82頁 聖徳大学 '15 (平成27) 年3月20日

**石田仁志** 〈書評〉位田将司著『感覚』と「存在」—横光利一をめぐる「根拠」への問い— 「語文」 第151輯 102～103頁 日本大学国文学会 '15 (平成27) 年3月25日

**千葉俊二** 二〇年代と九〇年代の上海—桐野夏生『玉蘭』を中心に 「比較文学年誌」 第51号〈小特集日中文学関係—上海を中心に〉 124～136頁 早稲田大学比較文学研究室編 '15 (平成27) 年3月25日

**李 哲権** 新感覚派の感覚と視覚とオブジェと文体—表現主義と横光利一の『上海』を中心に— 「聖徳大学言語文化研究所 論叢」 第22号 211～263頁 聖徳大学言語文化研究所編 聖徳大学 '15 (平成27) 年3月26日

**秦 剛** 『芥川龍之介と上海』 第2章上海における日中文化交流 改造社による中国言説の構築—『支那游记』から『大

魯迅全集』の刊行に至るまで 47～72頁 篠崎美生子・施

小焯編 恵泉女学園大学平和文化研究所 '15 (平成27) 年3月31日

**田口律男** 余滴 ホノルルで考えたこと 「横光利一文学会会報」 第27号 4～5頁 横光利一文学会事務局 '15 (平成27) 年7月20日

**石川則夫** 新刊紹介 中村三春著『フィクションの機構2』 6頁 同右

**副田賢二** 新刊紹介 金泰暻『横光利一と「近代の超克」』 『旅愁』における建築、科学、植民地』 6～7頁 同右

**木田隆文** 書評 和田博文・徐静波・西村将洋・宮内淳子・和田桂子著『共同研究 上海の日本人社会とメディア 1870-1945』 「昭和文学研究」 第71集 75～77頁 昭和文学会 発売笠間書院 '15 (平成27) 年9月1日

**西田谷 洋** 書評 中村三春著『フィクションの機構2』 78～80頁 同右

二〇一六 (平成二十八) 年

**石田仁志** 余滴 上海をめぐる文化表象研究の現在 「横光利一文学会会報」 第28号 5～6頁 横光利一文学会事務局 '16 (平成28) 年1月25日

**高橋幸平** 【書評】 中村三春著『フィクションの機構2』 「横光利一研究」 第14号 68～72頁 横光利一文学会 '16

(平成28)年3月17日

**柚谷英紀** 横光利一『上海』考(自由)の表象「日本文

藝研究」第67巻第2号及び第68巻1号合併号 49〜70頁

関西学院大学日本文学会 '16(平成28)年8月10日

**待田晋哉** 文化「文芸月評」上海残像の街に生きる 利那

的な愛、命が放つ光芒「読売新聞」朝刊 五〇五〇八号

16面 読売新聞社東京本社 '16(平成28)年8月30日(火曜)

↓『読売新聞縮刷版』収録 文化「文芸月評」上海残像

の街に生きる 利那的な愛、命が放つ光芒 59巻8号8月

号 通巻696号 1484頁 読売新聞社東京本社 '16(平成28)

年9月25日

**池内輝雄** 書評 土屋忍著『南洋文学の生成 訪れることと

想うこと』「昭和文学研究」第73集 197〜199頁 昭和文

学会 発売笠間書院 '16(平成28)年9月1日

**邵 明琪** 横光利一『上海』論―語りの構造からの考察―

「国語と国文学」第93巻第10号 通巻第1115号 52〜67頁

東京大学国語国文学会編 明治書院 '16(平成28)年10月

1日

二〇一七(平成二十九)年

**劉 妍** 雑誌『改造』と中国の関連性について「神戸松蔭

女子学院大学研究紀要文学部篇」第6号 17〜35頁 神

戸松蔭女子学院大学学術研究会 '17(平成29)年3月5日

**大橋毅彦**『昭和文学の上海体験』序章(魔都/摩登)上海

の次に(在る/来る)もの 1〜25頁 関西学院大学研究

叢書第185編 勉誠出版 '17(平成29)年3月31日

**村田好哉** 横光利一『上海』書誌稿(六)「大阪産業大学論

集 人文・社会科学編」第29号 大川俊隆教授・樋口忠

成教授・福田美智代教授・丸本嘉彦教授退職記念号 19〜

35頁 大阪産業大学学会 '17(平成29)年3月31日

**田村修一** BOOKS・論考 評 黒田大河著『横光利一とそ

の時代―モダニズム・メディア・戦争』「阿部知二研究

城からの手紙」第24号 95〜96頁 阿部知二研究会 '17

(平成29)年4月23日

**安藤 宏** 文化 本よみうり堂 名誉と恍惚 松浦寿輝

著 動乱の上海 美しき根無し草「読売新聞」朝刊

五〇七五〇号 7面 読売新聞社東京本社 '17(平成29)

年4月30日(日曜)

↓『読売新聞縮刷版』収録 文化 本よみうり堂 名誉と

恍惚 松浦寿輝著 動乱の上海 美しき根無し草 60巻4

号4月号 通巻704号 1363頁 読売新聞社東京本社 '17(平

成29)年5月25日

**無署名**『日本の時代をつくった本―幕末から現代までの社

会と文学をデジタルで読み解く』第三章昭和前期(戦

前)―昭和モダニズムと戦争 1928(昭和3年) 上海 横光

利一 新感覚派文学を代表する先駆の都会小説 140〜141頁

永江 朗監修 WAVE出版 '17(平成29)年4月

**山本幸正** 水上生活者と文学(3) —大城立裕『朝、上海に

立ちつくす』における「江北人」をめぐる「アジア・

文化・歴史」第5号 45〜79頁 アジア・文化・歴史研

究会 '17(平成29)年5月10日

**橋本陽介** 『越境する小説文体—意識の流れ、魔術的リアリ

ズム、ブラックユーモア』第二章中国における一九二〇

年代から四〇年代にかけての「意識の流れ」 65〜110頁

水声社 '17(平成29)年6月15日

**加藤夢三** 「ある唯物論者」の科学観—横光利一『上海』と

二〇世紀物理学—「昭和文学研究」第75集 96〜110頁

昭和文学会 発売笠間書院 '17(平成29)年9月1日

↓『合理的なものの詩学—近現代日本文学と理論物理学の

邂逅—』収録 II横光利一の文学活動における理論物理学

の受容と展開 第六章「ある唯物論者」の世界認識—横光

利一『上海』と二〇世紀物理学 174〜200頁 ひつじ研究叢

書(文学編) 12 ひつじ書房 '19(令和元)年11月5日

**小林洋介** 書評 黒田大河著『横光利一とその時代—モダン

ズム・メディア・戦争』「日本近代文学」第97集 173〜

176頁 日本近代文学会 '17(平成29)年11月15日

**中野 稔** 文化 小説舞台は上海租界 グローバル化先取

りで再注目 「日本経済新聞」夕刊 四七三二七号 16面

日本経済新聞社 '17(平成29)年11月27日(月曜)

↓『日本経済新聞縮刷版』収録 文化 小説舞台は上海租

界 グローバル化先取りで再注目 69巻11号11月号 1404頁

日本経済新聞社 '17(平成29)年12月25日

**川本三郎** 今週の本棚 評 名誉と恍惚 松浦寿輝著

「魔都」上海の裏通りに迷い込む 「毎日新聞」朝刊

五〇七九二号 11面 毎日新聞社 '17(平成29)年4月16

日(日曜)

↓『毎日新聞縮刷版』収録 今週の本棚 評 名誉と恍惚

松浦寿輝著 「魔都」上海の裏通りに迷い込む 68巻4号

4月号 通巻808号 591頁 毎日新聞社 '17(平成29)年5

月25日

## 二〇一八(平成三十)年

**棚部秀行** 今週の本棚・本と人 『外地巡礼「越境的」日本

語文学論』著者・西成彦さん「移動民」の文学に目を凝ら

す 「毎日新聞」朝刊 五一〇九九五号 11面 毎日新聞

社 '18(平成30)年2月18日(日曜)

↓『毎日新聞縮刷版』収録 今週の本棚・本と人 『外

地巡礼「越境的」日本語学論』著者・西成彦さん「移動

民」の文学に目を凝らす 69巻2号2月号 通巻818号 691

頁 毎日新聞社 '18(平成30)年3月25日

**石田仁志** 書評 大橋毅彦著『昭和文学の上海体験』「昭和

文学研究」第76集 231〜233頁 昭和文学会 発売笠間書

院 '18(平成30)年3月1日



十重田裕一 書評 黒田大河著『横光利一とその時代』モダ

ニズム・メディア・戦争』234～236頁 同右

加藤夢三 観測者の使命―横光利一『雅歌』における物理学

表象―「横光利一研究」第16号―特集横光利一とプロレ

タリア文学―93～108頁 横光利一文学会 '18(平成30)

年3月17日

↓『合理的なものの詩学―近現代日本文学と理論物理学の

邂逅―』収録 II 横光利一の文学活動における理論物理学

の受容と展開 第五章 観測者の使命―横光利一『雅歌』

における物理学表象 147～173頁 ひつじ研究叢書(文学

編)12 ひつじ書房 '19(令和元)年11月5日

中村三春 書評 黒田大河著『横光利一とその時代』モダニ

ズム・メディア・戦争』「横光利一研究」第16号 131～

134頁 横光利一文学会 '18(平成30)年3月17日

王中 忱・包 宝海訳 『アジアの戦争と記憶』二〇世紀の

歴史と文学』II アジアを渡る7 日本の新感覚派文学の

植民地都市での転向 横光利一の『上海』をめぐる 177

～207頁 岩崎稔・成田龍一・島村輝編 勉誠出版 '18(平

成30)年6月4日

速水 豊 『川端康成と横光利一』第二章モダニズムから

心理主義へ 一九二八―三四 39～56頁 三重県立美術

館 '18(平成30)年10月27日

二〇一九(平成三十一・令和元)年

石田仁志 谷川徹三と横光利一―新資料の書簡「日本近代

文学館年誌 資料探索」第14号 31～48頁 日本近代文

学館 '19(平成31)年3月20日

蔭山達弥 研究者と図書館 中国のほんの話(84) 横光利一

『北京と田里』[GAIDAI BIBLIOTHECA 図書館報]第

224号 6頁 京都外国語大学付属図書館・京都外国語短期

大学付属図書館 '19(平成31)年3月20日

王 洋 阿部知二の(上海もの)における新女性―関露・田

村俊子・雑誌『女声』との関連性を手がかりに―「阿部

知二研究 城からの手紙」第26号 4～16頁 阿部知二

研究会 '19(平成31)年4月23日

張 蕾 上海における芥川龍之介と横光利一「研究会報告」

第45号、「東アジア言語文化研究」創刊号 170～177頁 日

本語文法研究会 '19(令和元)年9月1日

真銅正宏 『匂いと香りの文学誌』第4章異国の臭い―上海

横光利一「上海」―近くて遠い場所 119～125頁／ 林京子

『上海』―三六年の時を隔てて 138～149頁 春陽堂ライブ

ラリー1 春陽堂書店 '19(令和元)年10月10日

二〇二〇(令和二)年

綾目広治 横光利一と小林秀雄―自意識から日本主義へ―

「横光利一研究」第18号―特集横光利一と小林秀雄― 23

36頁 横光利一文学会 '20(令和2)年3月17日

王 洋 「芳秋蘭」の虚と実―横光利一『上海』における女性共産党員をめぐる― 63〜78頁 同右

千葉俊二 講演録 文学と科学の相関性―寺田寅彦、横光利一、谷崎潤一郎など― 79〜102頁 同右

石田仁志・松村 良・中沢 弥・掛野剛史 《研究展望》「新世紀の横光利一」展を振り返って 115〜130頁 同右

河田和子 書評 加藤夢三著『合理的なものの詩学―近現代日本文学と理論物理学の邂逅―』 164〜167頁 同右

西 成彦 「多言語都市・上海」を思う(『日録』2018年6月7月より) 国際言語文化研究所プロジェクトA1研究所

重点プログラム「文化の移動と紛争的インターフェース／ジェノサイドと奴隷制の問題」トラベルライティング「外地巡礼の試み」 「立命館言語文化研究」 第31巻4号 通

巻139号 19〜38頁 立命館大学国際言語文化研究所 '20(令和2)年3月31日

大久保美花 横光利一『上海』における「触覚」的言語感覚 「世界文学」 第131号 特集「歴史と世界文学II」 82〜91

頁 世界文学会 '20(令和2)年7月1日

黒田俊太郎 書評 加藤夢三著『合理的なものの詩学―近現代日本文学と理論物理学の邂逅―』 「日本文学」 第69巻

第7号7月号特集文献学をとらえ直す 56〜57頁 日本文

学協会 '20(令和2)年7月10日

田村 都 書評 虚無に於ける供物のため『横光利一とその時代―モダニズム・メディア・戦争』(黒田大河著) 「文学史を読みかえる」研究会編 インパクト出版会 '20(令和2)年8月25日

山本亮介 書評 加藤夢三著『合理的なものの詩学―近現代日本文学と理論物理学の邂逅―』 「日本近代文学」 第103

集 122〜125頁 日本近代文学会 '20(令和2)年11月15日

122〜125頁 日本近代文学会 '20(令和2)年11月15日

122〜125頁 日本近代文学会 '20(令和2)年11月15日

122〜125頁 日本近代文学会 '20(令和2)年11月15日

122〜125頁 日本近代文学会 '20(令和2)年11月15日

122〜125頁 日本近代文学会 '20(令和2)年11月15日

122〜125頁 日本近代文学会 '20(令和2)年11月15日

122〜125頁 日本近代文学会 '20(令和2)年11月15日

122〜125頁 日本近代文学会 '20(令和2)年11月15日

122〜125頁 日本近代文学会 '20(令和2)年11月15日